

【巻頭言】

「内と外から『日本』をとらえ直す」。二〇〇〇年四月に設立された日本学研究所は、毎年一回の国際シンポジウムと公開講演会、三回程度の研究会を活動の柱としてきました。本号は、二〇一三年七月開催の国際シンポジウム「幻の「源氏物語絵巻」をもとめて・続」、二〇一四年一月開催の研究会「琉球・薩摩と東アジア——人と文物の往還——」について特集しました。あわせて、本来は先号に掲載すべきであった二〇一一年十一月開催の国際シンポジウム「日本学の現在と未来」の各セッションのサマリーを掲載しています。

さて日本学研究所では、「日本学」研究の拠点となるべく、二〇一三年に韓国中央大学校外国学研究所と研究交流協定を結びました。現在、イタリアのミラノ大学との研究交流を模索中です。さらに今年度からは、歴史・哲学思想・法制度・経済思想を射程に入れた「史学史」研究を始動しました。詳細はHPでご案内する予定です。

一層のご支援をお願いいたします。

二〇一四年七月

立教大学日本学研究所 所長
深津行徳